



足 け り バ イ ク

ENJOY RIDE II

[取扱い・組立説明書]

このたびは「SmartAngel 足けりバイク ENJOYRIDEII」をご購入いただきありがとうございます。取扱説明書を必ずお読みいただき、安全上の注意事項をご理解のうえ、保護者の方がお子様に説明してください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書はいつでも参照できるように大切に保管してください。



1. 梱包内容
2. 足けりバイクについて
3. 各部分の名称
4. 安全上の注意事項
5. 組み立て方法
6. ハンドルとサドルの調整方法
7. ブレーキの調整方法
8. 乗車前の点検事項
9. 廃車の注意事項

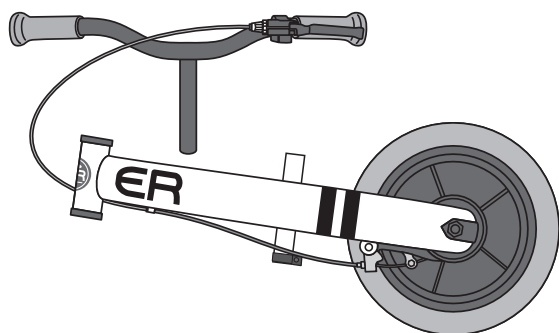
対象年齢3歳以上
耐荷重:20Kg

材 質

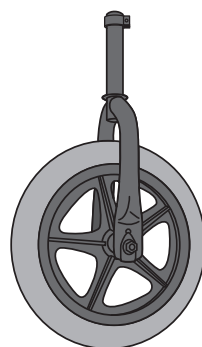
ハンドルグリップ:ノンフタル酸PVC
ハンドル:スチール
フレーム:スチール
タイヤ:発泡EVA
ホイール:ポリプロピレン
サドルシート:ポリウレタン

1. 梱包内容

※スタンドは付属していません。



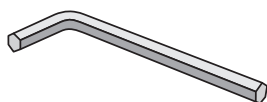
フレーム×1(ハンドル、後輪付き)



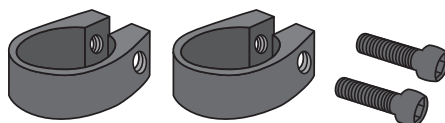
フォーク付き前輪×1



サドル×1



六角レンチ×1



締め付け金具(ボルト付)×2

※締め付け金具は梱包状態でフレームに取り付けてあります。

2. 足けりバイクについて

○足けりバイクとは

ペダル、チェーンがない二輪車で、足で地面を蹴って前に進みます。

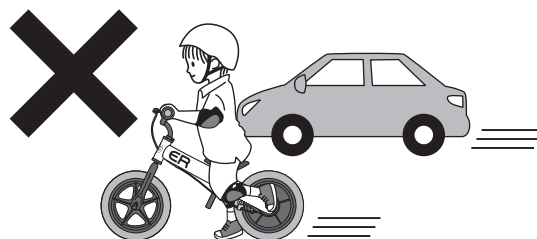
幼児が本格的な自転車に乗る前に遊びながらバランス感覚を養うことができます。

○消費者庁からの注意喚起

消費者庁から「ペダルなし二輪遊具の事故防止について(注意喚起)」がリリースされました。本製品は正しい使用方法を守らないと重大な事故につながる危険があります。特に以下の3点については、注意を呼びかけています。本製品をご使用の際にも必ず守ってください。

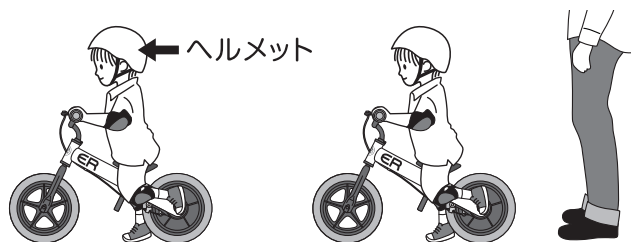
1) 道路で使用しない

足けりバイクは、道路交通法で定められた「自転車」には該当せず、車道を走ることはできません。道路を走ると、止まることができず車道に飛び出して自動車との重大事故につながる可能性もあります。道路での使用は絶対にやめましょう。



2) ヘルメットをかぶる

足けりバイクの使用時は、転倒した際の頭部への衝撃や怪我を軽減するためにヘルメットを着用してください。



3) 一人で遊ばない

幼児を遊ばせる際、保護者は幼児から目を離さないでください。

○足けりバイクの正しい使用方法

足がしっかり地面に着き、膝が少しだけ曲がる位置でサドルを固定してください。

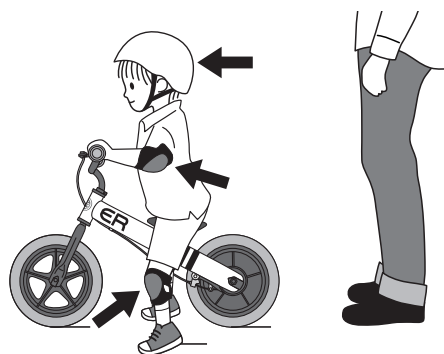
起伏のない平らな公園等でご使用ください。

運動しやすい服装で、ヘルメット、サポーターを

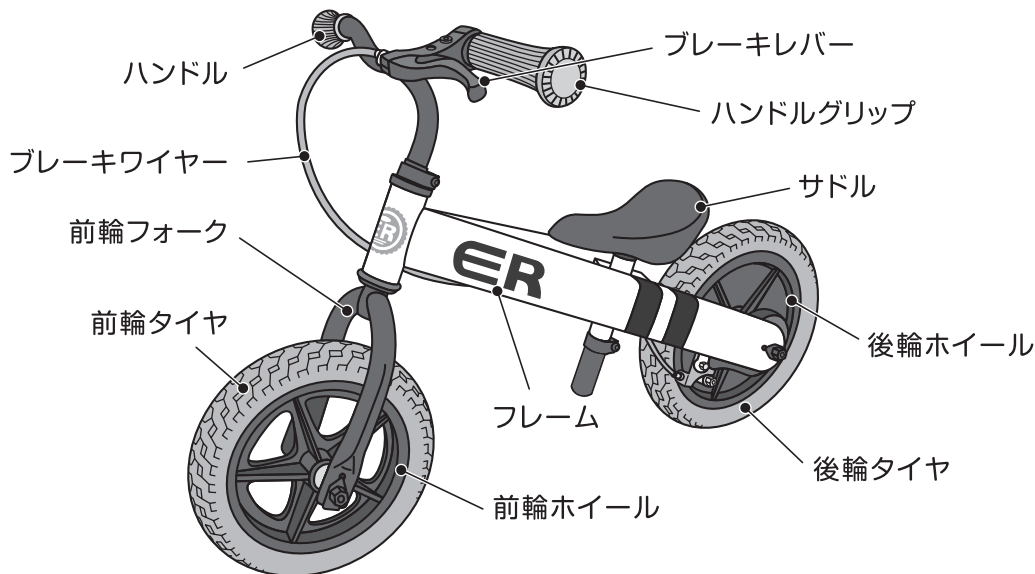
装着してください。サドルに座り、ハンドルを

握った状態で、地面を足で蹴ってご使用ください。

ご使用の際には保護者の方が常にお子様のそばにいてください。

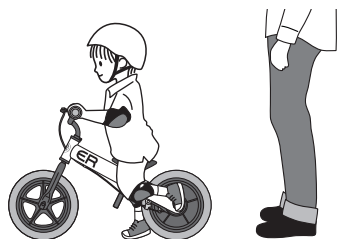


3.各部分の名称

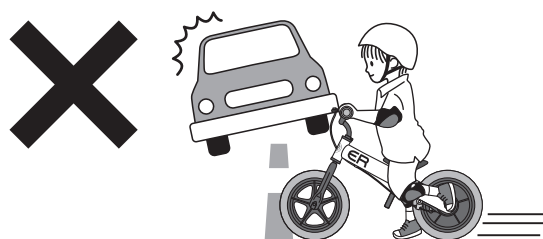


4.安全上の注意事項

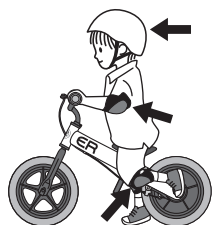
- 本商品でお子様遊ぶ場合、保護者が必ずそばについて安全を確保してください。



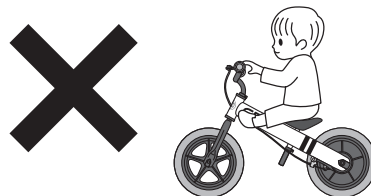
- 公道では使用しないでください。自動車や歩行者と接触、衝突事故が起きる可能性があり、大変危険です。



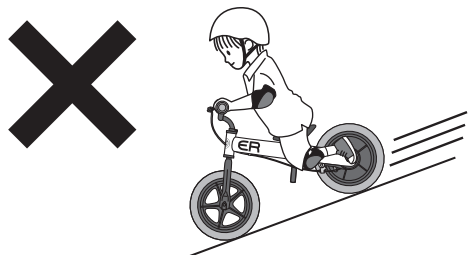
- ヘルメット、エルボーパッド、ニーパッドは必ず着用し走行してください。



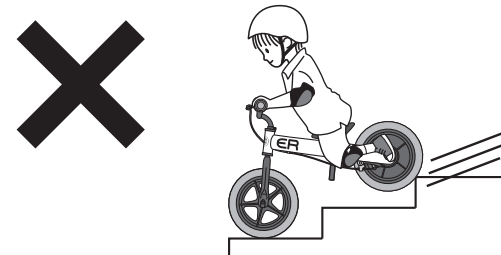
- 対象年齢以下のお子様には絶対に遊ばせないようにしてください。対象年齢以上のお子様でも足が地面に着地しないお子様は絶対に使用しないでください。



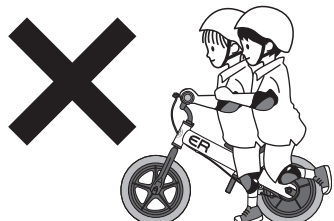
- 坂道では絶対に使用しないでください。スピードが上がるため大変危険です。



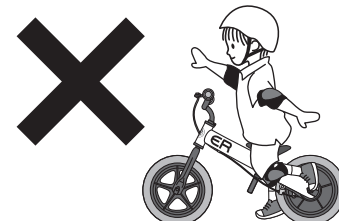
- その他危険な場所では絶対に使用しないでください。(凸凹面、段差の激しい路面、溝の近く、障害物のある場所など)



- 2人乗は絶対にしないでください。



- 片手運転、手放し運転はしないでください。



使用場所についての注意事項

- ・雨の日、路面がしめっているときは使用しないでください。
- ・夜間は乗らないでください。
- ・風、雨、雪がひどい時は使用しないでください。
- ・滑りやすい路面では使用しないでください。

使用者についての注意事項

- ・耐荷重を超える子供または大人は使用しないでください。無理な荷重をかけると、フレーム、タイヤの変形、ブレーキの破損が起こります。
- ・疲れている、体に異常がある時は乗らないでください。

組み立て方法についての注意事項

- ・ハンドルは、限界標識の刻印が見える状態では乗らないでください。
- ・小さな部品があります。組み立てる際、誤飲の危険がありますので、お子様がそばにいない状態で行ってください。
- ・組立が完了していない状態で使用しないでください。

整備・調整についての注意事項

- ・ブレーキの調整が必要な場合は必ず自転車店へ依頼してください。
- ・ブレーキワイヤーが切れた場合は、すぐに自転車店で取り替えてください。
また、安全のため一年毎に交換してください。
- ・ブレーキレバーが回ると危険ですので、緩いときはネジを十分締め付けてください。
- ・ブレーキブロックが磨耗してブレーキが利きにくくなった際には自転車店にご相談ください。
- ・ブレーキを強くかけたときハンドルグリップにブレーキレバーが接触する場合は大変危険です。
その際は、自転車店に依頼して、調整を行ってください。
やむを得ず自分で調節するときは「ブレーキ調整法」を参照してください。
- ・ブレーキワイヤーを引っ張らないでください。
- ・長い間のご使用中にネジが緩むことがありますので、その際は締め直してください。
- ・変形やひび割れ、ネジの緩みなどの異常があるときには乗らないでください。
- ・使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障及び破損したまま使用しないでください。
- ・改造はしないでください。

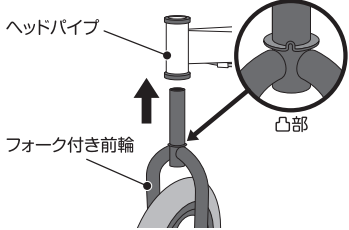
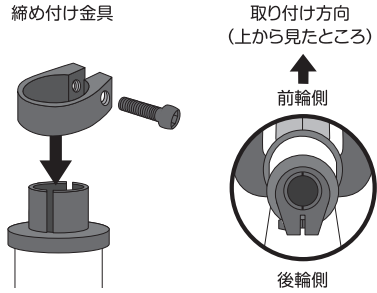
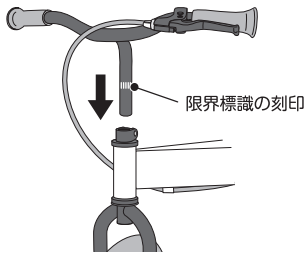
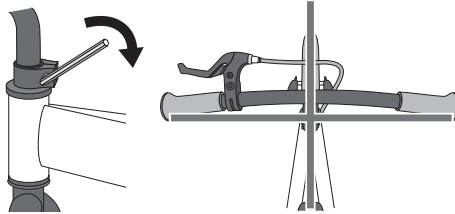

使用方法についての注意事項

- ・お子様がサドルにまたがったとき、両足が地面にしっかりと付き、膝が軽く曲がる程度の高さで使用してください。
- ・走行速度は 5km/h 以下を守ってください。
- ・自転車、オートバイ、自動車などで引っ張って使用しないでください。
- ・乱暴な乗り方はしないでください。
- ・ジグザグ運転をしたり競争はしないでください。
- ・本製品は原則的に使用者の足の力で加速、減速をしてください。ブレーキは補助的な役割であり、自転車のように強力な制動力はありません。
- ・幼稚園などに設置して不特定多数が高頻度で使用しないでください。個人での使用を目的として設計されています。
- ・前輪のホイールの穴にボールなどを挟まないでください。
- ・タイヤの周囲や回転部には手や足を入れしないでください。
- ・スカートやマフラーなどの衣類はタイヤに巻き込まれる恐れがあります。走行中は着用しないでください。
- ・手やハンドルに荷物を引っかけたり、ペットを連れて走行しないでください。
- ・傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり吊り下げたりしないでください。
- ・樹脂製サンダルや足が出ている靴では走行しないでください。
- ・踏み台にするなど走行以外の目的に使用しないでください。
- ・カーブではスピードを出さないでください。

●品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がございますのであしからずご了承ください。

5.組み立て方法

小さな部品がありますので、誤飲の恐れがあります。組み立ては、お子様がそばにいない状態で行ってください。

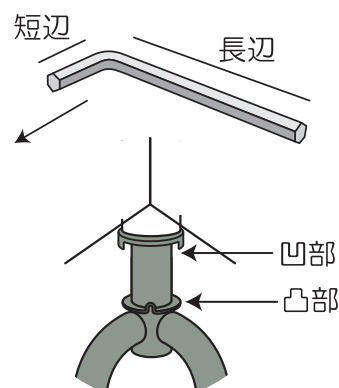
<p>①フレームのヘッドパイプにフォーク付き前輪を差し込みます。このときフォーク付き前輪は下図の凸部が後ろになるように組みつけてください。</p>	
<p>②フォーク付き前輪先端が、ヘッドパイプの上部より出ているのを確認し、突き出たフォーク付き前輪先端に締め付け金具を差し込みます。</p>	
<p>③ハンドルを限界標識の刻印が見えなくなるまでフォーク付き前輪先端に差し込みます。</p> <p>※ハンドルをフォーク付き前輪に差し込むときに無理な力が加わると、ハンドルの塗装がはがれることがあります。</p> <p>※前から見たときに、ワイヤーが図の方向になるようにしてください。</p>	
<p>④締め付け金具を付属の六角レンチで仮締めします。真上から見たときにハンドルとタイヤが直交するように調整した後、本締めしてください。</p> <p>※ハンドルがフォーク付き前輪に対して動かなくなるまでしっかりと締め付け、固定してください。</p>	
<p>⑤ハンドルグリップを下方に力いっぱい押し下げ、下がらないことと前輪付きフォークを足で固定して手でハンドルを回転させようとしても回らないことを確認してください。</p>	

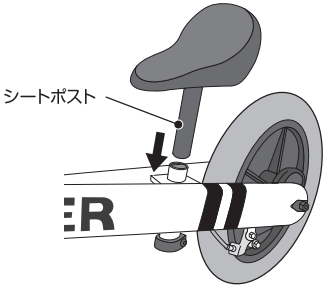
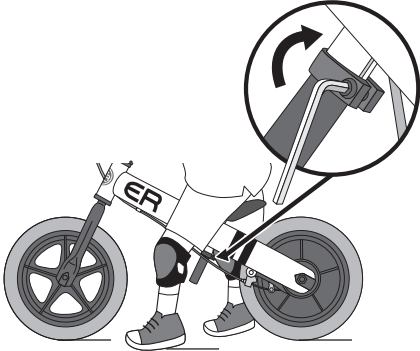
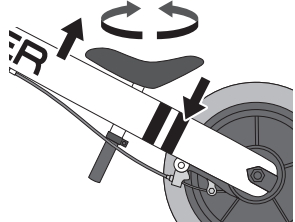
※六角レンチの使用方法について

六角レンチは、長辺を手に持ち、短辺を締め付け金具に差し込んで、しっかりと締め付けてください。

※前輪の旋迴角度制限について

前輪の旋迴の角度は制限されています。前輪フォーク後ろの凸部がヘッドパイプ下端の凹部の両端に当たって止まる仕組みです。



<p>⑥シートポストをフレームに差し込みます。</p>	
<p>⑦締め付け金具を付属の六角レンチで仮締めします。 お子様がサドルにまたがり、両足が地面にしっかりと着き、膝が軽く曲がる程度の高さに合わせた後、本締めしてください。</p>	
<p>⑧サドルを上下方向、左右方向、回転方向に手で動かそうとしても動かないことを確認してください。</p>	

6.ハンドルとサドルの調整方法

お子様の身長に合わせてハンドルとサドルを調整してください。ハンドルパイプには限界標識の刻印がありますので、この刻印が見える状態で固定しないでください。ハンドルパイプやシートポストが曲がったり折れたりして大変危険です。ボルトを締め付けるときは、保護者の方が行ってください。

ハンドルの調整方法

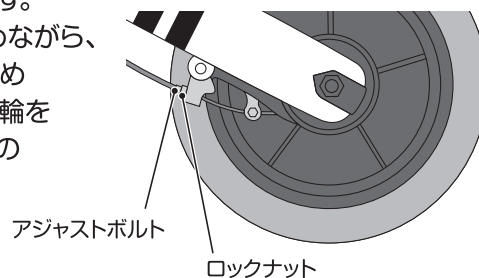
締め付け金具のボルトを緩めると、ハンドルが上下に動きます。お子様の身長に合わせて、高さを決め、締め付け金具のボルトを締め付けてください。締め付けた後、ハンドルグリップを両手で下方に力いっぱい押し下げ、下がらないことを確認してください。

サドルの調整方法

ボルトを緩めるとシートポストが上下に動きます。お子様の身長に合わせて高さを決め、ボルトを締め付けてください。締め付けた後、上下、左右、回転方向に動かし、動かないことを確認してください。

7. ブレーキの調整方法

※ブレーキの調整は必ず自転車店にご相談ください。長期間使用しますと、ブレーキワイヤーの伸び等によりブレーキの効きが悪くなります。その場合、右図のロックナット・アジャストボルトを少しずつ緩めながら、ブレーキの効きを確認し、適当な位置で止め、ロックナットを締め直してください。ブレーキの効きはブレーキレバーを握って、後輪を手で後ろに引いて確認して下さい。なお、上記以外のブレーキの各部の調整は自分では行わないでください。



8. 乗車前の点検事項

ネジ

本体を20cmくらい持ち上げて地面に落とし、雑音がしないか調べてください。雑音がした場合、どこかのネジが緩んでいる場合があります。特に車輪、ブレーキのネジが緩んでいると、事故の原因になります。

車輪の固定の点検

車輪をたたいてみて動かないか点検してください。特に前車輪の固定がゆるいと段差等の乗り越えのときに脱輪してしまう可能性があります。

ブレーキの点検

ブレーキレバーを引いたまま、自転車を押さえながら押し進めて車輪が回転しないか調べてください。効きが悪いときまたは、ブレーキレバーの遊びが大きいときはすぐに自転車店で点検を受けてください。

ハンドルの点検

ハンドルグリップを両手で下方に力いっぱい押し下げてみてください。また、車輪を股に挟んで固定しハンドルを左右に回してみてください。いずれかの操作をした際にハンドルが動いてしまうと、転倒の恐れがあり、大変危険です。動いてしまう場合は「ハンドルの調整方法」の項目の説明通りに締め付けてください。

サドルの点検

サドルを上下や左右に動かしてみてください。動く場合は「サドルの調整方法」の項目の説明通りに締め付けてください。

9. 廃車の注意事項

本製品を廃車するときは、各自治体のごみ分別や回収ルールに従ってください。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

販売元 株式会社 **西松屋チェーン**
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル



0120-7-24028

受付時間10:00~18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

MADE IN CHINA